

主日礼拝

2021年2月7日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「わたしの魂よ、主をたたえよ。
わたしの内にあるものはこそって
聖なる御名をたたえよ。
わたしの魂よ、主をたたえよ。
主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。
主はお前の罪をことごとく赦し
病をすべて癒し
命を墓から贖い出してくださる。
慈しみと憐れみの冠を授け
長らえる限り良いものに満ち足らせ
驚のような若さを新たにしてくさる。」
(詩編103:1~5)

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる
神の右に坐したまへり、かしこより来たりて、生
ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交は
り、罪の赦し、身体のみがえり、永遠の命を信ず。
アーメン

祈禱

献金

献金箱が受付に置いてあります
ので、礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 マタイによる福音書 15:21~31
新約(新共同訳) P30

「イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地
方に行かれた。すると、この地に生まれたカナ
ンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、わ
たしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦
しめられています」と叫んだ。しかし、イエス
は何もお答えにならなかった。そこで、弟子た
ちが近寄って来て願った。「この女を追い払っ
てください。叫びながらついて来ますので。」
イエスは、「わたしは、イスラエルの家の失わ
れた羊のところにしか遣わされていない」とお
答えになった。しかし、女は来て、イエスの前
にひれ伏し、「主よ、どうかお助けください」
と言った。イエスが、「子供たちのパンを取っ
て小犬にやってはいけない」とお答えになると、
女は言った。「主よ、ごもつともです。しかし、
小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただ
くのです。」そこで、イエスはお答えになった。

「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願
いどおりになるように。」そのとき、娘の病気
はいやされた。

イエスはそこを去って、ガリラヤ湖のほとり
に行かれた。そして、山に登って座っておられた。
大勢の群衆が、足の不自由な人、目の見えない
人、体の不自由な人、口の利けない人、その他
多くの病人を連れて来て、イエスの足もとに横
たえたので、イエスはこれらの人々をいやされ
た。群衆は、口の利けない人が話すようになり、
体の不自由な人が治り、足の不自由な人が歩き、
目の見えない人が見えるようになったのを見
て驚き、イスラエルの神を賛美した。」

賛美 459(1,2,4)「飼い主わが主よ」

Savior, like a shepherd lead us
詞: Dorothy A. Thrupp, 1779-1847

BRADBURY (SHEPHERD)
曲: William B. Bradbury, 1816-1868

かいぬしわが主よ、まようわれらを
わかくさのべにともないたまえ。
われらをまもりてやしないたまえ、
われらは主のもの、主のむれなれば。

- 1 飼い主わが主よ、まよう我らを
若草の野べにともないたまえ。
我らを守りて養いたまえ、
我らは主のもの、主の群れなれば。
- 2 良き友となりて常にみちびき、
まよわば尋ねてつれ帰りませ。
我らの祈りを受け入れたまえ、
我らは主のもの、ただ主に頼る。
- 4 主よ、いつくしみを我らに満たし、
今よりみむねをなさめたまえ。
我らをあわれむみ恵みふかし、
我らは主のもの、ただ主を愛す。

説教「イエスといっしょに変わろう」

聖餐式 牧師のみ

賛美 452「神は私を救い出された」

Surely it is God who saves me
詞: Carl P. Daw Jr., 1944-

THOMAS MERTON
曲: Ray W. Urwin, 1950-

1 かみはわ-たしをすくいださ-れた。
2 かみのみ-わざをせかいにし-めし、>

しんじるこ-の身におそれなど-ない。
>とうとい主-の名をかたりつた-えよ。>

つきること-のないいのち-のみ-ずを
>たからかに-うたえ、せいな-るか-みは>

あたいたくだれにも-あたえら-れる。
>われらのただなかに-いてくだ-さる。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 塩冶 みはる
説教 向井 希夫牧師
奏楽 大代 恵
助餐 山野上 純子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。